

**順路 常設展示室**  
コーナーごとにパネルやモニター、テレビ、写真などを展示しています。



**のどかな暮らしが...**  
水俣病が発生した不知火海。水俣病発生以前の漁生活や豊かだった海について語り部は語る...

**日本は工業化により世界の先進国を目指した**  
小さな村だった水俣がチッソ工場とともに工業都市へと発展していった...

**水俣病のきざしがあった**  
昭和20年代後半から、魚の浮上やネコの狂死など不気味な出来事が続いた...

**ついに人にも影響が**  
昭和31年、原因不明の患者が発生していることが公式に確認された。  
患者の発生が相次ぎ、患者や漁師の生活は困窮を極めた。チッソ工場の廃水が病気の原因との疑いが強まっていたが、チッソ工場はこれを認めなかった。また、国や県も工場廃水の規制を行わず、工場廃水は流され続け、海の汚染は続いた...

**政府が公害病と認めた**  
昭和43年、水俣病の発生から12年が経過し、ようやく国は、「水俣病はチッソ水俣工場の廃水が原因で起きた公害病である」とことを発表した。  
被害者たちは、チッソや国・県を相手に、裁判や自主交渉を行い、謝罪と救済を求め闘い続けた...

**水俣病問題解決のために**  
国や県が責任を認めず、被害者たちの闘いは長期化していった。そのため、今後一切補償を求める紛争を起こさないことを条件とした政府の解決案に多くの患者団体が同意した...

**メチル水銀はこうして海に流れた**  
**魚介類を食べてメチル水銀は体に入った**  
メチル水銀は、工場廃水とともに海に流された後、食物連鎖によって魚介類に高濃度に蓄積されていった。汚染のことを知らない漁村などでは、獲れた魚を日常的に多食し、次々と悲劇が生まれた...

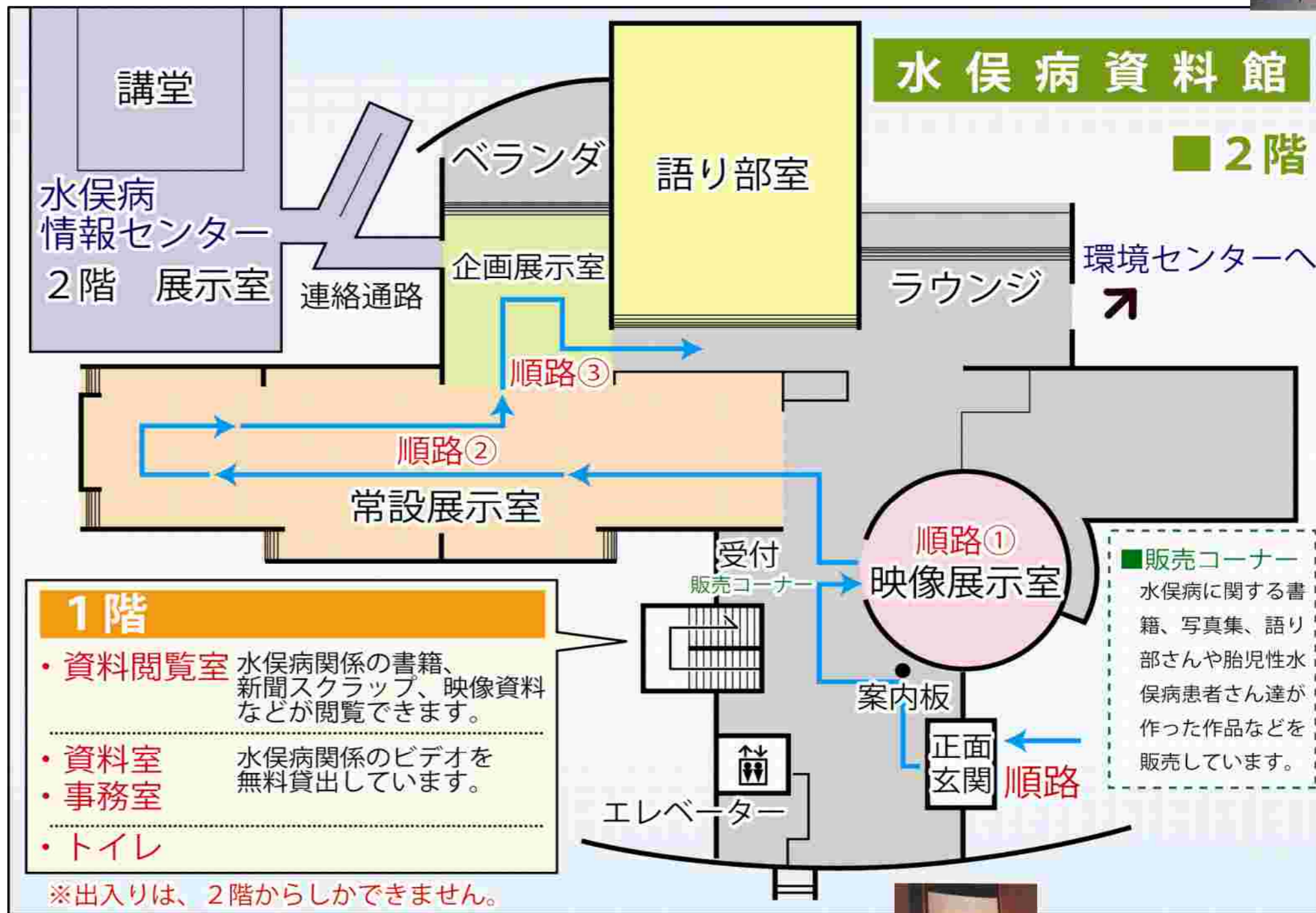
**水俣病の病状～原因究明に「ねこ」が使われた～**  
チッソでは、ネコに工場廃液を与えるなどの実験によって水俣病を発症することを確認していたが、その事実は隠して工場廃水を流し続け、被害の拡大をまねいた。その他、人体への水銀蓄積量と症状との関係など。

**大人も子どもも発症した**  
**お腹の赤ちゃんにも影響が**  
小児・成人水俣病と胎児性水俣病について  
水俣病はメチル水銀中毒症であり、体内に取り込まれ蓄積したメチル水銀によって脳の中樞神経を侵される。手足の感覚障害・ふるえ・しびれ、視野狭窄、難聴など様々な症状が現われる。そのうえ、母親の胎盤を通して胎児にも水銀が蓄積し、生まれながらに水俣病にかかる胎児性水俣病患者の発生というさらなる悲劇が生まれた...

**順路 企画展示室**  
環境都市づくりを目指す水俣市民のさまざまな取り組みのパネルや、水俣病が発生した当時の患者や漁の風景などの写真、患者等が布に書いた珠玉の言葉などを展示しています。



**語り部室**  
語り部から水俣病の悲惨な体験を直接聞くことができます。当時の生活、水俣病の症状、周囲からの差別・偏見など自身の体験を語りかけます。  
10名以上の団体無料 要予約



**教訓は活かされなかった～世界の有機水銀中毒～**  
新潟水俣病や世界各地で発生する有機水銀中毒の事例を紹介。

**へドロを処理して海をきれいにした**  
**被害者を救うための制度**  
水俣病認定制度や水俣病総合対策医療事業の紹介。水俣病の医療と研究、水俣湾公害防止事業の紹介。

**順路 映像展示室**  
「水俣病のあらし」を大型スクリーンで上映 (上映時間16分)



ご入館の際には、受付で記帳をお願いします。



水俣病資料館

順路「こねこ」見学ください